

総看だより

第6号

愛知県立総合看護専門学校

同窓会会報

2016年8月1日

鈴江 智恵

春日井市民病院
看護部長



場でどう支えていくのかが看護職の課題となっています。看護の目的は、人々が最後の瞬間まで輝く人生を送ることができるよう生活者の視点で支えていくことであり、今までと変わらないのですが、地域で支えるマンパワーが不足しています。今後は活躍の場を地域に広げていくことと、短時間でも資格を活かした働き方ができることを期待されています。そのためにも同窓会のネットワークが大いに役立つことを期待していますので、総会への参加をはじめ皆様のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

会長挨拶

同窓生の皆様、いかがお過ごしでしょうか。皆様のもとに届くこの「総看だより」が、同じ学舎で過ごした皆様を結び付ける絆となっていれば、同窓会役員一同大変うれしく思います。

さて、人口の高齢化や少子化を背景にして保健・医療・介護の提供体制が持続していくために、国民が考え方を変えていくことが必要となっています。特に病気の治療のありかたは従来の「病院完結型」から「地域完結型」にギアチェンジしており、これを看護の立

田口恵美子

学校長



業の支援であるカムバック研修など、12の研修を開催し、県内の看護職員の質の向上や就業の促進などに寄与しています。

さて、第一看護科では、学生が主体的に学習に取り組めるようプロジェクト学習の手法を導入し、昨年度初めて、入学から卒業までその手法で学んだ学生を輩出しました。また、授業や演習などに看護実践能力を磨くシミュレーション教育などを取り入れ、確かな技術を持ち、専門職として自律して行動できる看護実践者を育てる教育を行っています。そして今、学生は少しずつではありますが、その効果が実習や日々の行動に結びついております。

同窓会の皆様には、今後も第一看護科のご支援をお願いし、身近な方々に受験を進めていただいたり、看護師等の方々に、看護研修センターのご活用を勧めていただきますことをお願い申し上げます。

なお、今年度秋までには大講義室の改修工事が終了する予定です。同窓会より寄贈していただきました、濃いブルーの緞帳（ひき幕）が映えることを楽しみにしております。末筆になりましたが、皆様のご健勝とご活躍を心よりお祈りいたしております。

学校長挨拶

同窓会員の皆様、暑中お見舞い申し上げます。

私は平成28年4月に学校長を拝命し、現在4ヶ月が過ぎようとしております。

総看は、開学以来、45年を超える歴史の中で、8,500名を超す保健師・看護師を育成、輩出しています。多くの方々が、保健・医療・福祉のさまざまな場面で活躍され、着実に皆様の母校は歴史を刻んでおります。

また、看護研修センターは開設14年目となり、現在は専任教員養成講習会を始め、再就



ぜひ、ご参加ください

平成28年度同窓会総会ご案内

日時 平成28年11月26日(土)
午後1時から

場所 **ハートフルキッチン マロン**
名古屋第二赤十字病院内 2病棟6階
名古屋市昭和区妙見町2-9
☎(052)832-1121

タイムスケジュール

12:30	受付
13:00	総会
13:30	休憩
13:45	懇親交流会 (立食パーティー・ 近況報告)
15:00	

総会後、懇親交流会を兼ねた立食パーティー・近況報告を行います。

会費1,000円です。

※公共交通機関をご利用し、お出かけください。



母校とともに

臨床看護学第二科 3回生

江上 菊代

私が母校に入学したときは愛知県立総合看護専門学校という名称でした。古い話です。年がばれてしまいますね。

あれから〇〇年です。私は卒業後もずっと母校と歩んできたように思います。

卒業後名古屋第二赤十字病院に就職し、実習指導者として、そして講師としてお世話になりました。学生さんが大好きでした。看護を熱く語りあったのもいい思い出です。

その後は同窓会の役員としてお世話になり、現在は、愛知県ナースセンターにいます。看護師人生とともに母校とのつながりがずっと持てたことは私にとって宝です。



訪問看護・介護・居宅介護支援は不可欠な事業

第二看護科 7回生

篠原ひろみ

私は、昭和55年度第二看護科卒です。卒後は、名古屋第二赤十字病院に10年勤め、結婚・出産・育児を経験しました。その後は、老人ホームや検診業界・看護学校の教員を経て、訪問看護との出会いを機に、平成24年1月、株式会社栖のきを設立し現在に至っております。訪問看護・介護・居宅介護支援事業の運営は三位一体であり、現在の社会では絶対不可欠な事業です。看護師としての集大成である現在は、一起業家としても充実した毎日を過ごしております。



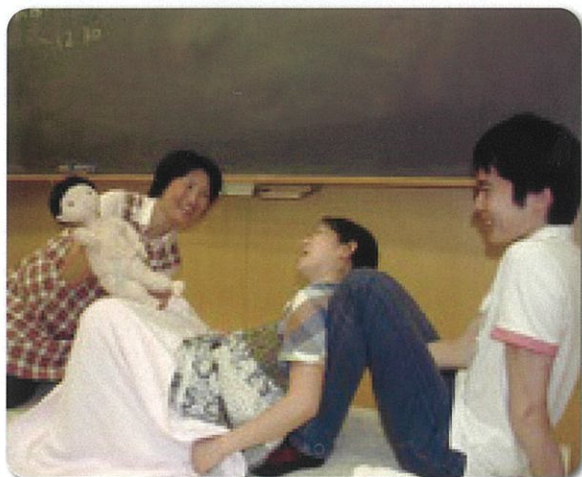
母は、人以上の人を産まず、人以下の人産まず

第一看護科 25回生

伏田 綾

「母は、人以上の人を産まず、人以下の人産まず」性（いのちの）教育の出前講座の縮めの言葉です。助産師となって17年、ライフワークとしている性教育。ナールプラ座という様々な職種が集まる団体があらゆる年代に対し、お互いの違いを認め、自尊感情の底上げとなるよう、幼保小中高大、依頼のあった学校へお邪魔しています。名物のお産劇は、子ども達の反応がかわいくて楽しくて、自分も温かい気持ちになります。一緒に活動しませんか？

現在は、岡崎市立看護専門学校にて教員をしております。



今、輝いている私達

日々の業務の積み重ねがすべての基盤

第一看護科 9回生

長尾佳世子

昭和57年に卒業し、名古屋第二赤十字病院に入社したことで、病院で臨床経験を積むとともに、赤十字の使命である国内救護・国際救援活動に参加することができました。阪神淡路大震災を皮切りに、東日本大震災まで4回の国内救護活動とイラン南東部地震災害から2015年4月のネパール地震災害の救援活動という4回の国際救援活動でした。これらの活動は決して特殊なものではなく、日々の業務の積み重ねがすべての基盤となっていることを改めて認識するものでした。

現在は、日本赤十字豊田看護大学で教員をしております。



看護師のスペシャリストを目指して

第四看護科 19回生

小川 直美

認定看護師制度のなかった在校中、講師の先生からの「看護師にスペシャリストがあってもよいのではないかな？」という言葉は卒業後、認定看護師を目指すきっかけの一つとなりました。

現在は、津島市民病院・看護外来で、がん性疼痛看護認定看護師として、在宅療養中のがん性疼痛を有する患者・家族のセルフケア支援を実践しております。また緩和ケアチームの中で多職種と協働し、心身の痛みが緩和でき、患者・家族の日常生活が継続出来る事を目指して活動しております。



看護の原点は社会貢献に繋がる

臨床看護学第三科 5回生

安西由美子

私は、昭和51年に卒業し、大学病院、公立病院の看護師生活を経て、愛知県医師会医療安全・難病相談室にて中立的な立場で医療機関と患者さんやご家族の信頼関係の構築に努めていました。

現在は、地域の病院で働いています。臨床では患者さんの生きる力や医療の限界と不確実性を知り、多職種とのチーム力の重要性を学びました。何処にいても看護の原点が社会貢献に繋がっていると考えます。未来の看護を担う総看の皆様のご健康とご発展をお祈り致します。



愛知県ナースセンターからのお知らせです

～看護の資格を生かして自分らしく輝きつづけるために～

愛知県ナースセンターをご存知ですか？

愛知県ナースセンターは、愛知県看護協会が愛知県から委託を受けて運営しています。就職の相談、職場の悩み相談、研修会の開催等、皆様の想いに寄り添って「看護職の総合拠点」となるべく、活動しております。

また、昨年10月には、看護師等の離職時等の届出制度が始まりました。皆様の中には現在就業している方、結婚・育児等で現場を離れている方、定年退職された方など様々だと思います。

この制度を通じて、看護職の皆様とナースセンターがつながりを持ち続け、切れ目のないキャリアが積み重ねられるよう、復職や就業等の様々な支援を行っております。ぜひこの制度をご理解いただき、届け出ていただきますようお願いいたします。

公益社団法人愛知県看護協会

愛知県ナースセンター
TEL (052) 871-0600 FAX (052) 883-3686

愛知県ナースセンター 名駅支所
TEL (052) 433-1173 FAX (052) 433-1175

愛知県ナースセンター 豊橋支所
TEL (0532) 52-1173 FAX (0532) 52-1166

同窓会の活動・総合看護専門学校の近況

前回の総看便り（第5号：2014年8月1日発行）から2年が経とうとしています。同窓生の皆様いかがお過ごしでしたか？同窓会の活動と総合看護専門学校の近況をお伝えしたいと思います。

同窓会は、秋に開催されている総合看護専門学校の学校祭に毎年参加し「卒業生の相談コーナー」を行っています。昨年度は相談コーナーに加えてゲームコーナー（パターゴルフ）を作り、景品としてコーヒーや紅茶などの飲み物やお菓子を付け、在校生と交流もしました。相談者として、看護師経験1年目や2年目の同窓生にも例



学校祭での同窓会のコーナー

年以上に多数協力いただき、在校生や一般の来場者の方28名の相談に乗ってもらいました。「臨地実習のイメージができた」、「就職する病院や病棟を考える参考になる」、「おいしいコーヒーが飲めた」、「お菓子がいっぱいもらえた」と好評を得ることができました。また、相談者として来校していただいた同窓生の方々も、個々に近況を報告し合い、プチ同窓会のような様子でした。今年度は、平成28年10月29日（土）に学校祭が開催される予定になっています。ぜひ、皆さまの後輩の様子、総合看護専門学校の変化を見にご来場ください。



卒業を祝う会

卒業を祝う会。卒業式の前には、在校生が企画した卒業を祝う会が開催され、ビンゴゲームを行い3学年の交流を深めました。お菓子をつまみながら、後輩がスムーズに学校生活を送れるように、在校生からの臨地実習や学科テスト、国家試験対策など不安や疑問についての質問に対し、自分の経験を先輩として伝えていました。1年生の不安を聞き「自分も1年生の時は授業や実習が不安だったけど、振り返ればあつという間のことのように」「実習が続く時はどうなってしまうか心配だったけれど、クラスメイトや指導教員のおかげで乗り切れた」「1つずつ確実にやっていくことが大切」「先輩と話し、自分の成長を感じた」と話していました。

平成28年3月2日には第一看護科43回生119名の学生が、わが校を巣立っていきま



消防防災訓練（ランタン作り）



消防防災訓練（三角巾の使用方法）

4月8日、前日の雨風が嘘のように朝から晴れ渡った日に、第一看護科46回生121名の学生が新たに入学してきました。121名中男子学生は12名、社会人は23名です。入学早々、スポーツ大会（名古屋市千種区のスポーツセンターで開催）の種目の一つである応援合戦を、放課後も利用し練習していました。5月2日の大会当日はクラスカラーを活かしたTシャツをおそろいで身につけ、先輩・後輩関係なく白熱した戦いを繰り広げていました。5月11日には、消防・防災訓練として、シェイクアウト訓練、AEDの実施、防災グッズ（スリッパ・ランタン）の作成、三角巾の使用方法などを行いました。

編集後記

投稿して頂いた卒業生の皆様、学校の先生方はじめ在校生の方々のご協力により、会報第6号を会員の皆様にお届けすることができました。今後も様々な場所で活躍している卒業生の近況をお伝えしていきたいと思っております。ご協力頂いた皆様、本当にありがとうございました。

来る11月26日（土）には、同窓会総会が開催されます。今年度は、懇親交流会を兼ねた立食パーティーを行います。ぜひ、ご参加していただき皆様の近況をお聞かせください。お会いできるのを楽しみにしています。また、10月29日（土）には学校祭が開催されます。後輩の活躍を見に、総合看護専門学校にお出かけください。

編集委員

鈴江 智恵	高田 明
林 恵子	林 鶴子
堀 憲子	永田 真理
高口みさき	藤村 礼美
長尾 理加	